

市議会だより



平成21年7月24日発行

No.14

なんたん



プールにあふれる
しぶきと笑顔

南丹市八木B&G海洋センタープール開き

●主な内容

6月補正予算	2
議員定数削減	3
主な条例改正	4
一般質問	6
委員会活動報告	13
特集記事	14

発行／南丹市議会
編集／広報特別委員会

〒622-8651
京都府南丹市園部町小桜町47番地
TEL.0771-68-0059(直通)
FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.kyoto.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp

平成21年6月定例会は、6月1日に開会し、24日に閉会しました。開会日には、4件の条例の一部改正議案、3件の広域連合の規約の制定や一部事務組合規約の変更議案、一般会計等5件の補正予算が提案されました。

9日から11日の3日間、14人の議員が一般質問を行いました。

また、15日から17日にかけて、各常任委員会が開催され、付託された議案の審査を行いました。

24日には、付託議案の各委員長報告、討論を行い、すべての議案を可決しました。また、議会活性化対策特別委員会で議論されてきた議員定数議案が議員提案され、討論の後、賛成多数で可決しました。

平成21年度一般会計補正予算(第1号)【賛成多数】可決

1億6,260万円を追加
総額 211億4,960万円の予算に

歳入の概要

	今回補正額
●分担金及び負担金	1,271万円
鳥獣害総合対策事業分担金	
●国庫支出金	2,494万円
鳥獣害事業交付金等追加	
●府支出金	2,476万円
ふるさと雇用再生事業補助金等追加	
●財産収入	53万円
活性化推進基金運用利子収入	
●繰入金	9,866万円
活性化推進基金等繰入金	
●諸収入	100万円
コミュニティ助成事業助成金	
計	1億6,260万円

歳出の概要

	今回補正額
●総務費	53万円
山陰本線複線化整備補助金の財源組替え等	
●民生費	127万円
障害者自立支援システム改修委託料等追加	
●衛生費	1,000万円
簡易水道特別会計繰出金追加	
●労働費	1,730万円
緊急雇用創出事業等追加	
●農林水産業費	5,170万円
野生鳥獣害総合対策事業等追加	
●商工費	102万円
土地鑑定料追加	
●土木費	7,140万円
住宅移転補償金、道路改良費等追加	
●消防費	171万円
木造住宅耐震診断調査委託料等追加	
●教育費	767万円
学校給食施設管理運営費等追加	
計	1億6,260万円

▼反対討論(要旨)

活緑クラブ

川勝 儀昭 議員

政府の20年度第2次補正予算において、定額給付金制度等とともに地域活性化・生活対策臨時交付金が交付された。本市においては3月議会でも5億7千万円が予算計上され、内1億3千万円が活性化推進基金に積み立てられ、21年度に繰り越された。この交付金事業は、緊急的な景気雇用対策の一環であり、地方自治体が積極的に地域活性化等に取り組むよう創設されている。しかし、今回JRR山陰線複線化事業の負担金に、取り崩した基金の約45%にあたる5千9百万円が充当されている。市の財政は厳しいが、市民生活はそれにもまして厳しい現状である。当初予算で予算措置、財源措置がすでにされている事業に、あえて財源組み替えまでしてJRRの負担金に充当するのでなく、直接市民のための、景気雇用対策、地域活性化対策、生活対策となる事業に使われるべきであると考え、反対とする。

議会議員定数 4名削減し22人とする議案可決

議員定数を法定定数の26人から22人に削減する条例案を賛成多数で可決しました。

来年2月18日の任期満了までに予定されている次回市議会議員選挙から新定数22人が適用されます。

提案理由(要旨)

議会活性化対策特別委員長

中川幸朗

議員それぞれの資質の向上を図り、市民の付託に応えられる議会となるべく、平成18年12月に立ち上げられた議会活性化対策特別委員会において①議員も行財政改革に積極的に関与すべきとの観点に立ち、議員定数削減の方向で検討。②旧町毎の選挙区を無くし、市域全体を選挙区にすることが、市の一体感の醸成に繋がる。③広域な行政区画であり、急激な削減で市民の不安をおこす事にならないよう、市民の声を行政に反映できる人数の確保が必要との3点を基本に協議が進められ、各会派においても慎重に議論を行ってきた。

併せて、議員定数に対する市民の声、近隣市町の議員定数の削減状況、また、本市の行財政状況を勘案する中で総合的に判断し、22人が適切との判断に至った。

反対討論(要旨)

日本共産党・住民協働市議員団

大西 一二 議員

第一に、議員数の削減は、住民の声が市政に届きにくくなり、行政と住民のパイプを細くするものだ。

また、財政支出の抑制のためというなら、「議員定数削減」でなく「報酬の削減」こそ議論すべきだ。

何のための議員定数削減かあいまいで、その上、現行定数を4も減らすことについてまともな根拠も理由も説明されていない。

賛成討論(要旨)

南風会

村田 憲一 議員

議会活性化対策特別委員長より提案があったとおり本市は広大な面積を有しており、その上、山間地が多く、高齢化が進んでいる。それらの地域の代弁者として議員に対し、幅広い役割が強く求められている。

本市は将来にわたって財政の安定と総合振興計画に基づく住民のための行政

この削減にはまったく道理がない。

第二に、本市は過疎化の進行が著しい。議員定数削減は、周辺部住民の声の切り捨てにつながる。本市の市域面積を考えれば削減すべきでない。

第三に、この間の、地方分権改革の推進により、地方議会の果たす役割はますます重要となってきた。このような時期に、議会議員定数の削減は、自らその議会の役割を狭めようとするものである。現行定数を削減すべきでない。

賛成討論(要旨)

丹政クラブ

村田 正夫 議員

地方分権が進む中、地方議会の役割は重くなり、議員には、高い知識や提案力、説明力や行政の監視力が求められ、その専門性は極めて高くなる。

なぜ定数を減らさなくてはならないか。最小の経費で最大の効果を目指す「行財政改革」は時代の趨勢であり、議会だけが聖域である事は許されない。職員には、厳しい定数削減と給与削減を求め、58歳での管理職停止を強い

賛成討論(要旨)

活緑クラブ

高橋 芳治 議員

が進められている。その中で議会のあり方や、市民の付託に応えるべく、議会活性化対策特別委員会でも多くの課題につき議論を重ねてきた。

議員定数については、南風会も多く市民の情報を得て慎重に議論をし、基本的に定数削減は良とし、大幅な削減はせず、市全体選挙区とする。以上3点を確認し、定数22名とすることに賛成する。

議員は市全域的視野に立ち、平均的に各地域が

ている中で、我々議員も「共に痛みを分かち合う」姿勢が必要だと考える。

丹政クラブは、度重なる協議・検討と共に個々の議員活動で市民の意見聴取に努めてきた。あわせて、旧4町からの有識者懇談会を開催した。「意欲ある優秀な議員の出やすい条件整備」と「減員止む無しだが、急激な減員への不安がある」が多数であった。それらを総合的に勘案し、定数の減員と、その数は現時点で最善のものと結論付け、賛成とする。

発展するよう行政に反映させることは議員としての責務であるとの意見があったことを申し添え、賛成討論とする。

条例の改正

市税条例の一部改正

地方税法の一部が改正され、個人の市民税の住宅借入金等特別税額控除が平成35年度まで延長されたことと、租税特別措置法において、平成21年1月1日から平成22年12月31日までの間に取得した土地等の長期譲渡所得の特別控除が新たに創設されたことによる改正。

国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部が改正され、上場株式に係る配当所得について、申告分離課税制度が創設されたことによる附則の追加と、上場株式の譲渡損失と上場株式等の配当所得との間の損益通算の特例が創設されたことによる附則の追加。

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等において、緊急の少子化対策として妊婦の経

受けるためのもの。

京都府市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び京都府市町村職員退職手当組合規約の変更

構成員のうち相楽郡笠置町南山城村中学校組合が解散したことに伴い、構成員数を減少させることと規約の変更。

京都府市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の増加及び京都府市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

園部町・八木町・日吉町・美山町合併協議会決定事項に基づき、法律に基づく農地部会等を設置するための改正。

京都地方税機構の設立について

簡素で効率的な税務執行体制を確立し、公平・公正な税務行政の執行を目指して「京都府・市町村税務共同化」の広域連合組織を設立するための協議をし、規約を定めることにつき議会の議決を受け、総務大臣の設立許可を

京都地方税機構について

▼賛成討論(要旨)▼

本機構は、京都府下の25市町村が税務の共同化を行い地域課題を克服しようとするものである。目的は、公平・公正で効率的な、府民に信頼される税務行政の確立、併せて自主財源の確保・納税者の利便性の向上・地方分権の推進に向けた税務執行体制の構築である。

私達は安全に暮らせる権

丹政クラブ

橋本 尊文 議員

利を有し、生活基盤を守る納税義務を負っている。本市でも滞納問題は重要課題であり、税の公平性・使用者負担の観点から一層の収納率の向上が求められている。このような見地からの本機構の設立と考える。納税者の視点に立ち、納付可能な人への確かな措置を講じる一方、納付が難しい社会的弱者の方々へ十分な配慮と適切な対応を強く願い賛成討論とする。

▼反対討論(要旨)▼

日本共産党・住民協働市会議員団

高野 美好 議員

今回の「税務共同化」は、第一に「効率化」とともに「徴税コスト3割減」の名のもとに税務職員を減らすことをめざしていることから、「納税者本人への丁寧な対応」どころか、「滞納処分あつて行政なし」の事態となることは明らかである。

第二に、税は徴収できたとしても、その結果、国保税や保

育料の滞納が増え、医療も保育も受けられなくなる事態を招くことが予想される。

第三に、対応が画一化され、納税者の権利が侵される危険性を含んでいることである。とりわけ、「税金を払いたくても払えない人」への徴収強化が懸念される。

以上、自治の根幹である「税徴収」を一元化する「京都地方税機構」への参加は、時期尚早であることを表明し、反対討論とする。

意見書の可決

「中山間地域等直接支払い制度の継続と充実を求める意見書」

産業建設常任委員会会で検討、議論の結果、議員提案され、全員賛成で意見書を可決し、内閣総理大臣ほか関係大臣へ送付しました。

中山間地域等直接支払制度の継続と充実を求める意見書

中山間地域等直接支払制度は、過疎化や高齢化が進む中で、耕作放棄地の増加などにより、水源のかん養や洪水防止など、農業・農村が持つ多面的な機能の弱体化を防ぐために、平成12年度に導入された。

傾斜地などの条件不利地域に対して、面積に応じて一定額を助成され、5年ごとに見直されてきており、本年度は、第2期対策の最終年を迎えている。

本市においては、耕作放棄地の発生を防止し、多面的な機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する同制度に取り組み、平成20年度実績は、交付対象面積703.8ha、交付金額73,633千円、集落協定数82集落となっている。

交付金の使途と効果については、共同利用機械の導入、農道・水路の維持管理、有害鳥獣対策が集落協定の柱となっており、集落協定における実践が、地域住民の意識の向上や耕作放棄地の抑制に効果をあげているところである。

よって、国におかれては、中山間地域の農地を保全し、将来にわたり集落機能を維持するため、次の措置を講じられるよう強く要望する。

1. 中山間地域で農業生産活動を行う農業者への直接支払を通じて、耕作放棄地の発生防止と農地等の多面的機能の維持を図ろうとする本制度を、平成22年度以降も継続すること。
2. 本制度の継続にあたっては、過疎化・高齢化に伴う担い手不足など農村地域がかかえる課題を踏まえ、現行の対象農地と一体的な保全が必要な農地についても交付対象とするなど、地域の実情に応じた対応が可能となるような制度とすること。
3. 中山間地域は、今後とも高齢化がすすむことが確実なことから、本制度を恒久化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月1日

内閣総理大臣 他

京都府南丹市議会議長 吉田 繁治

請願の取り扱い

「納税緩和措置の積極的活用と「京都市方税機構」への拙速な議決ではなく充分な説明・審議を求める請願書」が船井北桑田民主商工会会長より提出されました。総務常任委員会では慎重に審議し、表決の結果、賛成少数で不採択になりました。

人事案件

「農業委員会等に関する法律」に基づく議会推薦の農業委員は次の方々です。

河村明義氏

(園部町船岡)

若井勝美氏

(八木町美里)

吉田陽子氏

(日吉町殿田)

下仲喜久男氏

(美山町福居)

臨時議会

平成21年5月27日、臨時議会が開会されました。

- 市特別職員の給与に関する条例の一部改正
- 市職員の給与に関する条例の一部改正
- 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 平成21年度老人保健

市職員の給与条例一部改正について

反対討論(要旨)

日本共産党・住民協働市会議員団
大西 一三 議員

今回の夏季手当の大幅減額は、公正中立、客観的対応が特に求められ人事院のあり方そのものが問われる問題を含んでいる。

また、今回の措置で国・地方公務員、関連労働者を含め数億円の賃金削減が予想され、一層の内需の冷え込みを作り出し、地域賃金・地域経済に大きな影響を及ぼし、賃金削減のサイクルを作り出すものである。本市の職員給与水準は、ラスパイレズ指数88・1とさきわめて低く、府下の市町村の中ではワースト2で、またそのことが嘱託・臨時職員の待遇を押し下げている状況である。こうした職員の低い基本賃金については触れず、一時金的大幅減額には国家公務員に準拠する必要があるとする条例の改正については、市職員の生活不安、労働意欲を後退させることになる。

事業特別会計補正予算
第一号
○専決処分の承認について

地方税法の改正に伴う市税条例の一部改正、都市計画税条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正です。また、一般会計補正予算、特別会計補正予算5件が承認されました。

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

6月定例会では、
14人の議員が一般質問を
行いました。各議員の
質問と理事者の答弁の
概要は次のとおりです。
(質問順に掲載)



南風会
面村 則夫 議員

地域活性化対策事業は

市長 交付金を有効に活用し、地域経済の活性化を図る

市長 21年度7億4百万
各区の要望の具現化は。
進や各種団体、自治会、
購入補助、火災報知器
設置補助、学校の耐震
化、自主防災組織の推
進や各種団体、自治会、
21年度7億4百万



丹政クラブ
中井 榮樹 議員

住民悲願の 通天湖の水質改善は

市長 検討委員会で論議していく

市長 21年度7億4百万
「多目的ダム通天湖」
は干ばつ時の灌漑用水
の確保、また、景観の増
幅目的で昭和17年3月
に完成した。そして、清
水を保つため定期的に
水替えを行ってきた。し
かし、近年は水替えが出
来ておらず下流域では
岩が黒ずみ、腐敗化した

水は悪臭を発している。
早急の水抜きを求める
嘆願書を添付して、4月
に市長と南丹土木所長
にそれぞれ手渡しが行
われたが、その後の市の
対応はどうか。また、府
民公募型公共事業で湖
底の汚泥除去を府に求
めてはどうか。

市長 4月に要望書と多
くの方の署名を頂き、真
摯に受け止めている。5
月に関係職員と現場を歩
き現状は大変大きな課題
と再認識した。水質に関
する検討委員会を設置し
南丹土木事務所・南丹保
健所との連携を図ってい
る。また、府民公募型公
共事業に大きな期待を寄
せている。いずれも今後
早急に対応して行きたい。

市長 福祉の面から、ま
た、スクールバス運行の教
育面からの考え方等複合
した中で、バスやタクシー
と連携を図り新しいバス
体系の構築が必要。22年
のJR複線化をきっかけ
に、対応を早急にしたい。

市長 4月に要望書と多
くの方の署名を頂き、真
摯に受け止めている。5
月に関係職員と現場を歩
き現状は大変大きな課題
と再認識した。水質に関
する検討委員会を設置し
南丹土木事務所・南丹保
健所との連携を図ってい
る。また、府民公募型公
共事業に大きな期待を寄
せている。いずれも今後
早急に対応して行きたい。

市長 福祉の面から、ま
た、スクールバス運行の教
育面からの考え方等複合
した中で、バスやタクシー
と連携を図り新しいバス
体系の構築が必要。22年
のJR複線化をきっかけ
に、対応を早急にしたい。

市長 福祉の面から、ま
た、スクールバス運行の教
育面からの考え方等複合
した中で、バスやタクシー
と連携を図り新しいバス
体系の構築が必要。22年
のJR複線化をきっかけ
に、対応を早急にしたい。

市長 21年度7億4百万
各区の要望の具現化は。
進や各種団体、自治会、
購入補助、火災報知器
設置補助、学校の耐震
化、自主防災組織の推
進や各種団体、自治会、
21年度7億4百万

市長 福祉の面から、ま
た、スクールバス運行の教
育面からの考え方等複合
した中で、バスやタクシー
と連携を図り新しいバス
体系の構築が必要。22年
のJR複線化をきっかけ
に、対応を早急にしたい。

市長 福祉の面から、ま
た、スクールバス運行の教
育面からの考え方等複合
した中で、バスやタクシー
と連携を図り新しいバス
体系の構築が必要。22年
のJR複線化をきっかけ
に、対応を早急にしたい。



日本共産党・住民協働市会議員団

仲 絹枝 議員

どうなる中学校給食

財政状況から今すぐ導入することはできない

市長

問 全国の7割以上の中学校で完全給食を実施している。昨年12月議会で、「未実施3校の可能性を探り、出来る所から考えていく」と答弁している。その後どのような検討がされたのか、具体的な中身を伺う。

【教育長】 弁当による昼食が親子の絆を深めている。授業時間増により、学校給食を実施する時間の確保は、学校運営上極めて厳しい状況である。ランチルーム、エレベーターの

設置等の施設整備が必要で、財政状況から見て今すぐ導入することはできない状況である。

身近な所で相談を

問 障がい者やその関係者は、身近な所で相談したり、情報を得たいと思っている。「障がい者家族の無理心中事件」が報道され、関係者から、現状や将来に対して不満や不安の声を聞いている。相談体制の充実と人材育成が必要と考えるが。

【市長】 障害者福祉に関

する相談は各支所、本庁が対応するとともに、専門相談員の配置、専門相談機関へ委託している。市役所と府・専門医、専門施設等との連携の中で適切に対応することが重要であり、これが基本姿勢である。

公共交通の充実を

問 公共交通の廃止は、「移動制約者の勤労権・生存権等、基本的人権に関わる問題で、地域の過疎化・地域崩壊をもたらす」と専門家は指摘し

ている。人が住み続けられる地域作りのためには生活交通システムが必要である。来年春の山陰本線京都園部間の複線化に合わせ、公共交通を充実されるという事だが。

【市長】 JRのダイヤ等の詳細が明確になっていないが、福祉、教育の観点から内部的に協議を進めている。



活縁クラブ

高橋 芳治 議員

八木駅西土地区画整理事業の推進は

事業認可に向けて取り組む

市長

問 区画整理全体として進んでいないと思うが問題点は何か。問題点についての府やJRとの協議の状況はどうか。また、21年度の計画策定業務について伺う。

【市長】 施工区画を確定するための地区界の測量、東所川河川、旧国有地等の境界確定を実施し、施工区域全体面積を10・5haに確定した。21年度業務として、都市再生整備計画を作成し、八木駅周辺地域を含めた将来ビジョンを検討する。また、都市計画事業の認可に向けて推進していく。

八木駅舎改築、陸橋のバリアフリー化を

問 JR嵯峨野線の中でも一番古い駅舎であり、特にJRを利用して南丹病院に通院の方、老人体の不自由な方には、陸橋を渡るのに苦勞をされている。駅舎改築と併せ陸橋のバリアフリー化を。

【市長】 八木駅西土地区画整理を進めるなかで、周辺地域を含めた将来ビジョンを

検討し、駅舎の改築を折り込み、早期に進めていく努力をする。

バリアフリー整備ガイドラインに基づき、JR西日本に要望していく。

南広瀬公営住宅の今後の方向性は

問 築50年から58年が経過した住宅で、住環境が悪く、また、周辺には個人の住宅も含め、公共下水道事業の計画が立っていない。住宅地域の今後の方向性を伺う。

【市長】 旧八木町の住宅マ

スタープランにおいては、区画整理事業の保有地・町所有地を活用し、建て替えを行う方向となっている。本市も、住宅マスタープランを作成するなかでそういった方向で定めていく。



南風会
村田 憲一 議員

「だいつぼ」を 早く通して

市長 通行止め解除を目指す

問 市道船岡熊原線の通称「だいつぼ」の通行止めの解除を望む。この通行止めは、旧町の時からで、足掛け9年間、約500mの間とは言え、通行止めのままである。南丹市、広しと言えども他にはない。早急に担当課で、綿密な調査を行い、大丈夫と言う結論が出れば通行止めを解除され、手を振って通れるよう願っている。市長の考えを伺う。

市長 通行止めを長期間おこなってきた事に対し、大変遺憾に思っている。また、これまで策を講じなかった点も反省している。早期に通行止め解除を目指して努力する事を約束する。

高屋大戸間の改良は
問 昨年12月議会で伺った高屋大戸間の改良工事は、いつ頃に着工されるか伺う。

市長 最終的な詰めをしている。早急に結論を出し、秋口には着手

する方向で準備を進めている。着工すれば、完工も早く出来るように考えている。

府民公募型公共事業に何力所応募するのか
問 公募期間は4月15日～9月30日までである。

府全体で60億円の予算がついている。市に先立ち、川辺地区では、府道園部亀岡線の船岡地内「越方大橋」西詰に信号機の設置を、5団体の署名を添え応募

した。今回の公募は安心安全に目を向けた事業で、魅力を感じている。本市は何件位応募されるのか。

市長 市としては安全のため改善の必要があるものの中から提出を行うべく準備を進めている。この中で具体的には、河川の浚渫、路面修繕、段差解消、ガードレール等、概ね30から40カ所の提出を考えている。



丹政クラブ
谷 義治 議員

南丹病院産婦人科医師の確保を

市長 府立医大等と連携をはかり努力する

問 子育て支援のスタートは、安心できる分娩施設があることである。南丹病院の産婦人科は地域の中核施設である。どんなことがあっても医師を確保し継続させていくことである。住民不安を与えないメッセージが必要と考えるがどうか。

市長 南丹病院産婦人科は、中部医療圏における唯一の通常出産、ハイリスク分娩に対応できる病院である。今、医師の確保は、憂慮していると

ころであり、府立医大、京都府庁に行つて、医師確保に努力している。これからも実現に向け努力する。

火葬場建設の決意は
問 府内外の火葬場を視察して、本市の施設はお粗末で、死者に対して申し訳なく思う。市長の気持ちと決意を伺う。

市長 私自身この新しい施設の必要性は十分認識している。衛生管理組合の本年度予算の中に、基本計画策定のための経

費が計上されている。京丹波町と連携して重要な課題である火葬場を早期に検討していく。

新光悦村の企業誘致と佛教大学の学部誘致は
問 新光悦村の企業誘致の現状と団地内サービス施設の設置は必要と思うがどうか。また、佛教大学の学部誘致のその後について伺う。

市長 分譲地の購入企業7社うち操業中は5社。進出表明企業3社。進出検討企業4社となつ

ている。このコンセプトに合致した小規模区画の工場の誘致促進に努力する。ソフト事業的な部分については、京都新光悦村企業の会といった組織構築を考えている。

佛教大学の学部誘致については、大学として放っておかないと言っているの、定期的な協議を行う。



日本共産党・住民協働市会議員
高野 美好 議員

経済危機から 住民生活を守れ

市民生活安定に努力 **市長**

問 政府は、三年前に小泉内閣が「白紙だ」と明言し凍結した高速道路や巨大港湾の整備に、総額2兆6千億円費やすとしている。

新たに発行される10兆円もの国債によって膨らんだ赤字の付けは、「消費税増税」で国民に負担が押し付けられる。

そのことをしっかりとふまえ、今後の財政執行に当たられるよう、まず求める。そこで、特

市長 別交付金の有効活用が重要であるが「ふるさと雇用再生特別交付金」と「緊急雇用創出交付金」は、雇用情勢の悪化に対応するための交付金となっており、本市へは、約7千万円が交付される。雇用創出という緊急性のある事業性格からして、本年度で完結すべき事業と考えるが。

市長 雇用の創出、市民生活の安定は喫緊の課題と受け止め対応する。また事業は3年間とな

っているが、事業の趣旨に沿って、早急な対応が必要であると考えている。

地元企業に優先発注を

問 「地域活性化・生活対策臨時交付金」事業の内容を見ると、山陰線複線化事業補助金約5千9百万円が含まれているが、交付金をわざわざ充当すべき事業とは思われない。また、工事請負費や備品購入費が事業の大半を占めているが、地元中小業者、すなわち旧町毎の業者

に優先発注されなければ、地元経済を潤すことにはならないと考えるが所見を伺う。

市長 山陰線複線化事業への組み替えは、市の財政状況を鑑みる中での措置である。

また、市内業者への発注を優先することは当然であると考えている。



活緑クラブ
川勝 儀昭 議員

国民のための臨時交付金は 市民のために使われるべきである

財政も考慮し、許される範囲で活用する **市長**

問 昨年度の地域活性化・生活対策臨時交付金の内1億3千万円が今年度に基金として繰り越された。今議会その基金取り崩しの約45%にあたる5千9百万円がJR複線化事業負担金に充当されている。直接市民のために緊急的な景気雇用対策、生活対策、地域活性化対策に使われるべきであると考えが所見を伺う。

市長 速やかな地域活性化の施策を考えている

が、永続的な健全財政も考慮し、許される範囲で一般財源として範囲を広げ、JR複線化事業にも活用させていただく。

池ノ内ほ場整備完了を目指し、板野川改修が急務

問 24年度完了予定で池ノ内地区ほ場整備事業が進められているが、板野川改修と下流域にあたる吉富駅西區画整理事業が課題となっている。河川改修には、仮設掘りや調整池等の暫定措置も考えられる。また区画整理実

施に向け、行政として保留地処分や企業誘致等の前向きな材料提供が必要であり、強力な行政主導が必要と考えるが、所見を伺う。

市長 ほ場整備事業は、計画変更せざるを得ない時には暫定措置等も考えていく。また、区画整理の進捗により用地捻出の措置をとる手法を考え、様々な環境整備に知恵を絞り、組合設立と事業認可に向け全力を尽くす。

消防団組織を中心とする

防災体制の確立を

問 少子高齢化も伴い、消防団員の構成年齢は上昇し、定数確保も困難な地域も出てきている。この状況をふまえ今後の防災体制について所見を伺う。

市長 地域課題を洗い出し、組織の見直しや活動体制について消防団で議論をいただいている。組織の方向性、防災体制のあり方も含めて検討していく。

南丹市商工会発行のプレミアム商品券



経済危機とその対策について

南風会
中川 幸朗 議員

市長 経済対策雇用促進に努める

問 市長は市内の厳しい経済状況に対し具体的にどのような経済対策を実施するのか。

市長 本市域における経済状況は長年にわたり大変厳しい状況が続いている。南丹広域振興局やハローワーク、また京都ジョブパークなどとの連携を図り、経済対策雇用促進に努めたい。

市内事業者への政策的な発注機会の増加を

問 多方面で市に貢献をされている市内事業者

へ、経済危機対策臨時交付金を活かし、政策的に発注機会を増すとともに、市内事業者へのスキルアップを図る事業実施が必要ではないか。

市長 経済危機の中で、市商工会ではプレミアム商品券を発行し、商業の振興や経済活性化に努めていただいている。発注業務は入札制度等との絡みもあり、積極的にどういう手立てができるのか、様々なことも勘案し、発注機会が増

やせるよう努力をしている。

南丹市全域でのバス交通網の構築の進めは

問 市域での各立場の方により交通弱者への交通手段をどう確保していくのか、合意形成を図っていくことが必要である。住民協働の中で市がコーディネートとして役割を果たし、いろんな手法や手段を取捨選択し、バス交通網体系の再構築を図っていく必要がある。また、園部八木線につい

て路線の拡張、時間帯の変更等により効率的、効果的な路線の改善ができないか。

市長 バス問題は重要な問題と考えている。市がコーディネートとしての役割を果たしていきたい。

制度面でも大変難しい課題もありJR複線化のダイヤの方向を見、よりよいバス交通網を構築していきたい。

ゲートボールを楽しむ人たち



園部公園の施設整備を

丹政クラブ
森 為次 議員

市長 使いやすい施設に再検討が必要

問 市民の憩いの場として、また、生涯スポーツ、健康づくりと多種多様に使われているが、使用場所によって、「トイレ」まで遠く、また、老朽化しており不便をかけている。今後、高齢者や障がい者などの弱者の方も利用してもらうためにも公衆トイレの設置が必要と考えるが見解を伺う。

市長・教育長 現在の利用状況や、近接トイレの老朽化、また、今後の動向もふまえ、せつかく作

った施設をより使いやすい形の中で再検討が必要と考えている。

イベント事業の考え方は

問 地域イベント（各種団体含む）は、元気・感動の源であり、地域活性化や市民協働の始まりでもあるが、今後の考え方は。また、多くの宣伝効果のあった日吉ダムラソンの事業としての位置付けは。

市長 地域イベントは市の活性化につながり、将来にわたって広がっていく

ものと考えている。諸問題や見直し等があるが、市民協働につながるよう協力体制をとり参画していきたい。また、日吉ダムマラソンは、末永く愛される大会として継続していきたい。

鳥獣の捕獲対策は

問 防護対策が進むなか、住民上げでの捕獲対策について伺う。

市長 現存、捕獲以上に繁殖率が高く、大変大きな課題と位置付けている。今ある協議会

をより充実し、関係団体・地元など連携をとり、市も真中になつて被害軽減に努めるなかで、生産意欲の向上と経営安定のため、努力していく考えである。



日本共産党・住民協働市会議員
大西 一三 議員

園部中心市街地に にぎわい戻るか

早期に完了させることがまず必要 **市長**

問 事業の進み具合と事業完了の見通しは。拠点施設の計画は。

市長 平成 23 年度完了に向け取り組んでいる。事業費ベースで 70% となっている。拠点施設は、専門家や住民の意見を聞き、仮称「賑わいづくり協議会」で検討いただく。

問 事業が進行するにつき住民の不安は広がっている。関係者だけでなく広く市民への説明会など必要と考えるが。

市長 今のところ説明会

問 事業の進み具合と事業完了の見通しは。拠点施設の計画は。

市長 平成 23 年度完了に向け取り組んでいる。事業費ベースで 70% となっている。拠点施設は、専門家や住民の意見を聞き、仮称「賑わいづくり協議会」で検討いただく。

問 事業が進行するにつき住民の不安は広がっている。関係者だけでなく広く市民への説明会など必要と考えるが。

市長 今のところ説明会

問 事業の進み具合と事業完了の見通しは。拠点施設の計画は。

市長 平成 23 年度完了に向け取り組んでいる。事業費ベースで 70% となっている。拠点施設は、専門家や住民の意見を聞き、仮称「賑わいづくり協議会」で検討いただく。

問 事業が進行するにつき住民の不安は広がっている。関係者だけでなく広く市民への説明会など必要と考えるが。

市長 今のところ説明会

問 事業の進み具合と事業完了の見通しは。拠点施設の計画は。

市長 平成 23 年度完了に向け取り組んでいる。事業費ベースで 70% となっている。拠点施設は、専門家や住民の意見を聞き、仮称「賑わいづくり協議会」で検討いただく。

問 事業が進行するにつき住民の不安は広がっている。関係者だけでなく広く市民への説明会など必要と考えるが。

市長 今のところ説明会



活緑クラブ
松尾 武治 議員

業者のいいなりで多額の 財政負担

入札は厳正に執行した **市長**

問 防災行政無線は、旧八木町からの計画で、特定メーカー仕様が操作卓を中心に示されている。全市の整備には 10 億円前後の財源が伴う。仮に 10 億円として 2 割を切る。競争が働いた自治体と比較すると 5 億円の削減になる。3 月議会で市長は最大の効果を最小の経費で出来たと云われたが何を根拠に云われたのか根拠になる数値を示し市長の見解を問う。

市長 入札は厳正な執行だったと考えている。今回の落札率について特別な原因があったという認識はない。

問 自治法第 2 条第 14 項には、「地方自治体はその事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と定められているが、市長は自治法の認識が全くない。

市長 入札は厳正な執行だったと考えている。今回の落札率について特別な原因があったという認識はない。

問 自治法第 2 条第 14 項には、「地方自治体はその事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と定められているが、市長は自治法の認識が全くない。

市長 入札は厳正な執行だったと考えている。今回の落札率について特別な原因があったという認識はない。

問 自治法第 2 条第 14 項には、「地方自治体はその事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と定められているが、市長は自治法の認識が全くない。

家族での田植作業（八木町）



農地取得の下限面積が変更されるが



丹政クラブ
川勝 眞一 議員

市長 耕作放棄地の削減につなげる

問 農地を取得または貸借する際に下限面積を10アールに変更されたが、拡大する耕作放棄地は放置のままである。担い手の高齢化や後継者不足、農業環境は厳しくなるばかりで、市内の放棄地の面積は39・1ヘクタールで、3割が農地への復元が困難。簡単に取得出来れば、集落の共同作業に課題が残る、投機的目的での農地売買を心配する。農業委員会や区長が誓約書を取り、防止を。農家住宅

市長 耕作放棄地の増大は大きな課題で指摘のとおりである。耕作放棄地の増加を食い止め、新規就農者の育成につなげていく。安易な取得で集落の共同活動が阻害されることなく、農家組織等への参入指導を行う。農家用住宅団地等についても考えていかなければならない。
安全な踏切の移転はいつ
問 複線化に伴い八木駅舎・周辺整備について地

市長 耕作放棄地の増大は大きな課題で指摘のとおりである。耕作放棄地の増加を食い止め、新規就農者の育成につなげていく。安易な取得で集落の共同活動が阻害されることなく、農家組織等への参入指導を行う。農家用住宅団地等についても考えていかなければならない。
環境基本計画の策定はいつ
問 本市の環境問題について、現在「南丹市美しいまちづくり条例」が制定されているが、総合的な環境基本条例の必要性

は。それにもない「環境基本計画」の考えは。本市でも、温室効果ガス排出量等の調査が行われたが内容を伺う。
市長 平成18年に「南丹市美しいまちづくり条例」を制定。名称は異なるものの環境基本条例と同一のものと認識しており、条例に基づき、環境基本計画の策定が必要。本年度から2カ年にわたって策定作業に入る。二酸化炭素排出量は集計

公共事業（道路工事）



市道に架かる橋の点検結果は



丹政クラブ
末武 徹 議員

市長 平成22年度末に、すべての橋の点検を終える

問 平成20年度で予算化された橋梁の点検作業はどのくらい進んでいるのかを伺う。
また、緊急に修繕や改良を要する危険な橋梁は、どのくらいあるのか。修繕等の必要な橋梁の今後の改良・補強計画についても見解を伺う。

市長 市道に架かる橋の数は、536橋で、そのうち251橋の点検を終えた。平成22年度末に、すべての橋の点検を終える計画である。これまで

に園部・八木地内にある251橋の点検を終えた。修繕が必要な橋は21橋である。平成21年度に日吉地内の橋を、22年度に美山地内の橋を順次、点検していく。重要度や緊急度を十分に勘案し、計画的に修繕を進めていく。
公共工事は地元業者へ発注すべき
問 平成20年度に地元業者に発注した事業は、全体の何%か。併せて、地元業者に発注した工

事等の中味は、どのようなものが多いかについて伺う。
市長 平成20年度における公共事業の数は、全体で230件である。そのうち、市内業者への発注は、204件であり、率にして88・7%である。地元業者に発注した工事の中味と率は、土木関係が98・9%、建築関係が93・3%である。しかし、水道施設の工事や電気・通信関連の工事は、市外の業者に発注せざる

常任委員会活動報告

■総務常任委員会

4月28日

教育施設について、平成20年度新設工事された、殿田小学校、補修工事の新庄小学校及び平成21年度耐震補強工事予定の園部小学校屋内運動場などの視察を行いました。殿田小学校についてはすべての施設が整備されました。

6月15日

6月定例会において、農業委員会委員選挙、定額給付金の支給状況、新型インフルエンザの取組み、市税の納付書発送の報告を受け、付託された議案6件、請願1件の審査を行い、議案はすべて可決し、請願は不採択としました。今回納税者の利便性の向上や、業務の効率化をはかり公平公正な税業務を進める



教育施設を行政視察(耐震補強工事予定の園部小学校)

として、府内の市町村が京都地方税機構を設立する規約が提案され、当面は滞納整理の共同実施、将来は課税業務や国保税の共同化を進める内容となっています。一般会計補正予算は、地域活性化事業、木造住宅耐震診断、自主防災活動用具購入費、外国語活動実践研究事業、美山共同調理場の修繕や備品購入費の審査を行い可決しました。

■産業建設常任委員会

6月16日

6月定例会で付託されました4議案について審査をおこないました。

①南丹市農業委員会の定数等の改正については合併協議会の決定事項により、農業委員会等に関する法律に基づき「農地部会」「農政部会」それぞれの設置及び構成について必要な事項の定めをするものです。農地部会の権限及び委員会活動の変化については、法定部会となると、今までは総会において全ての処理をおこなっていました。今後は、それぞれ「農地部会」「農政部会」が所掌する事務はそれぞれの部会で決定されたものが委員会決定となり、農地部会においては、特に農地の利用関係についての「許認可関係」があります。また、部会は分かれるものの農業委員としての役割は、担



農業委員会(全員協議会)

当地区を分担しそれぞれ従来どおりの仕事となります。②21年度一般会計補正は、国の特別措置法や、国の2次補正分に係る府基金より、市への配分の補助金の増額、地域活性化・生活対策事業の実施が主なものです。他、簡易水道事業補正1議案、下水道事業補正1議案、合わせて4議案を全会一致で可決しました。

■厚生常任委員会

4月17日

福知山市、綾部市の斎場を行政視察しました。

5月19・20日

洲本市、鳴門市において斎場、クリーンエネルギーについて行政視察を行いました。

6月17日

厚生常任委員会に付託されました議案について委員会を開催して審査しましたので、結果を報告します。

議案第87号南丹市国民健康保険税条例の一部改正については、表決の結果、全員で可決しました。

議案第88号南丹市国民健康保険条例の一部改正については、表決の結果、挙手全員により可決しました。

議案第93号平成21年度南丹市一般会計補正予算(第1号)について



福知山市斎場、綾部市斎場を行政視察

は、表決の結果、挙手全員で可決しました。議案第97号平成21年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算については、表決の結果、挙手全員で可決しました。

南丹市の 頑張る人たち

がんばる

6 ～「NPO法人ガイアプロジェクト」～

第八回は日吉町の西村和雄さんが代表を務めておられる「NPO法人ガイアプロジェクト」についてお伺いしました。

NPO法人ガイアプロジェクトは昨年九月に京都府より認可を受けました。その設立目的は、有機農業の技術習得にあり、そのための教育・普及・啓発活動を行うことを主眼にしています。季節に合わせた野菜の作り方・土の育て方、そして何よりも農薬と化学肥料とを使わずに、美味しく野菜が得られることを、多くの方に知っていただくよう研修場を設け、市民に開放しています。一年かけて野菜の栽培方法を総合的に学ぶ専科コースのほか、春・夏野菜と秋から初冬にかけての短期コース（有機の家庭菜園）など、自宅を開放してゲストハウスとし、常時受け付けています。昨年以來、常時十数名の方が有機の家庭菜園を目指して、実地栽培の研修にこられ、圃場には笑いが絶えません。

和気あいあい楽しく有機栽培を学ぶ



代表の西村和雄さん

編集後記

市民の皆さん「こんにちは」等、日々頻繁に使うあいさつ言葉ですが、電子メールのやり取りが多い昨今「こんにちは」「こんばんは」の「は」と「わ」の混在が目立ちます。語源的には「は」が正解なのですが。それではなぜこうなったのか調

べて見ますと、昔の辞書で表記してあるものがあつた、以前に学校で「わ」と教わった、「わ」の方が「和」に通じて親しみやすい等、諸説色々あります。ただし、試験で「わ」を使うと減点されるのでご注意を。

(M・N)

広報委員

委員長	矢野 康弘
副委員長	仲村 学
委員	大西 一三
	川勝 儀昭
	小中 昭
	中井 榮樹
	中川 幸朗

9月定例会の主な予定

- 1 日(火)本会議
(開会、議案提案説明)
- 8 日(火)本会議
(一般質問)
- 9 日(水)本会議
(一般質問)
- 10日(木)本会議
(一般質問)
- 25日(金)本会議
(採決、閉会)

※8月24日(月)午後5時までに提出された請願・陳情等は9月定例会で取り扱われます。

※会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。